

豚コレラ「経営支援を」

県内JA、国会議員に要望

意見交換会

県内JAグループ幹部と自民党の県選出国会議員らによる意見交換会が、東京都内であり、JA側が豚コレラ(CSF)の発生で影響を受けた生産者の経営再建、経営安定に向けた支援などを求めた。

JA側はJA岐阜中央会の櫻井宏代表理事会長や各JAの組合長ら9人、自民

党側からは県連会長の野田聖子衆院議員ら国会議員や県連幹部の9人が出席した。

櫻井会長は「豚コレラや大規模災害の発生など農業、農村を巡る情勢は厳しい。新たに発効した日米貿易協定や農協改革の議論の行方を心配する声もある」とあいさつ。豚コレラやア

ジアで感染が拡大しているアフリカ豚コレラ(ASF)対策、食料安全保障の確立など4項目を要望した。

野田氏は豚コレラでの対応を振り返り、「国会議員もタッグを組んで、一つ一つの課題に丁寧に答えを出していきたい」と述べた。

(根尾文悟)



県内JAグループ幹部と意見を交わす自民党の県選出国会議員
＝東京都千代田区、都市センターホテル